南部生涯学習センター学習情報紙　あしだがわ　１８４号

２０２１年（令和３年）１月

発行　　南部生涯学習センター

住所　　福山市沼隈町大字草深１８８９番地６

電話　　９８０－７７１３

FAX　　９８７－２３８２

e-mail[nanbu-shougai-gakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp](mailto:nanbu-shougai-gakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp)

センター人権・社会教育活動事業

なんぶ　クローズアップ「災い転じて　福つかむ」

パネル展示を行います。

災害時の避難行動にあたっての判断力をクイズ感覚で身につける２種類のワークシートのパネルを展示します。

（１）豪雨災害時に出された避難情報に基づきどう行動するかを考えるワーク（個人でもOK）

（２）避難所での状況についての各自の行動について意見を出し合い，さまざまな考え方に気付けるワーク（複数人向け）

根拠のない「自分は大丈夫」という考えに一石を投じてくれるものになっています。

毎年のように起きている「今までに経験したことのない災害」に備えていきましょう。

展示タイトル「あなたは，どっち？チョイス！～Bad Endを回避せよ！～」

期間　１月２６日火曜日から２月１６日火曜日

場所　沼隈支所　２階ロビー（福山市沼隈町草深1889番地６）



講演会の報告

12月5日「地元を作り直す時代～人と仕事を取り戻す仕組みづくり～」と題して一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所所長の藤山 浩（ふじやま こう）さんを講師に講演会を実施しました。

講演では，住民基本台帳に基づいたデータから5年おきの人口分析を行い，人口安定のための出生率・流出率・定住増加数の目標値を示されました。

　20代30代等若い世代のみに注目するのではなく，全体のバランスを見て増加目標を立てることが持続可能なコミュニティづくりにつながる。また，地域に日常生活を送るうえで不可欠な施設・機能や地域活動を行う場所を集約した「小さな拠点」を作り，そこを中心に地域のお金を地域の中で循環させる仕組みづくりがこれから重要になってくる。それを実現するためには根気強くみんなで話をしていくことが必要と話されました。

当日のワークショップやアンケート内容についての詳しい報告は南部生涯学習センターのホームページへ掲載していますので，ぜひご覧ください。



南部なるほど！キャンバスの報告

１１月１０日～１１月２３日の期間で，「一日一善」をテーマに沼隈支所２階ロビーで山本瀧之助の活動についてのパネルを展示しました。あわせて「今日の一日一善」についてのコメントコーナーを設けました。「困っている友達を助けた」「ゴミを拾った」「ひとりで車を待っているおばあちゃんと話した」「けがをした友だちを保健室に連れていった」など，思い思いの「一善」が寄せられました。展示を見ていた方が「今日は何か一善をしたかな・・・」「帰って何かしよう」と話すシーンも見られ，日々を振り返り，一歩前進することができたのではないでしょうか。



視覚障がい等の理由がある人のために，営利目的を除き「録音」「点字」「拡大」などを認めます。